

## 巻 頭 言

## 日本の国際貢献は先端技術で

学術情報センター所長  
東京大学名誉教授

猪 瀬 博

現在進行中の東欧や旧ソ連国における政治的激変は、その指導者達が技術革新のもたらす巨大なインパクトを見落したことによるといっても過言ではありません。すなわち第1に、技術革新が経済の持続的成長をもたらす原動力であることに気付かず、破局的な窮乏をまねいたのです。第2に、技術革新の成果であるテレビなどの情報メディアが国境を越え、情報統制が不可能となっている事態に対応できず、経済窮乏を市民の目から覆いかくすことができなくなったのです。技術革新は今後も世界の政治的、経済的地図を大幅に塗り替えてゆくでしょうし、世界の人々の生きざまにも大きな変革をもたらすでしょう。

経済・技術大国と目されるようになった日本に対して、種々の形での国際貢献をもとめる声は日増しに高まっています。しかし国民の血税から支出された湾岸戦争経費 130 億ドルも余り評価されませんでしたし、これから行われるであろう PKO への貢献も、現行憲法の制約があって、高い評価は期待できないでしょう。それでは何をもって日本は世界に貢献できるのでしょうか。その答えの一つは、第二次大戦後、巨大な軍需産業を廃止して民生産業に転換するという、苦渋に満ちた努力を重ね、ついに世界の民生市場を制覇し、未曾有の繁栄を享受するに至った日本の貴重な体験を、崩壊しつつある軍事大国に伝授することです。また大気汚染に正面から取り組み、世界にさきがけてクリーンなエンジンを開発し、きれいな空を取戻したばかりでなく、自動車産業の国際競争力を確立したのも日本です。今日世界は、地球的規模の環境問題に直面していますが、環境浄化への真剣な技術的対応が、問題解決への鍵となるだけでなく、産業の振興に役立つことを身をもって示した日本の実績は、これからの環境問題群に取組もうとする世界の人々を勇気づけるに違いありません。換言すれば日本の国際貢献は、その卓越した技術的実績に立脚したものでなければならないと考えます。

世界の人口は増大の一途をたどり、保健と医療は地球上での最大の課題となっております。日本の保健・医療技術は、医家の先生方の御指導によって、きわめて高度のものとなっておりますことは御同慶の至りではありますが、今後ともそれが発展を続け、世界の人々の幸福のために役立つことを心から念願している次第です。

(平成3年度文化勲章受賞者)